を主体とした地域づくりの実践

子ども地域活動モデルづくり事業

*平成28年度は「子ども地域活動推進事業」として実施。

(平成25~27年度)

背景・課題

- ■地域活動の高齢化、担い手の不 足・硬直化!
- ■世代間の繋がり希薄化、次世代 への継承困難!
- ■地域で子どもの姿が見えなくな る。進学で都市部に出て、帰っ てこない!
- ■ふるさと教育、キャリア教育の 実践の場が必要では?

モデル

- 子どもたちが主体的かつ継 続的に地域活動を展開
- ② 子どもたちをお客さんとせ ず活動できる場をつくりサ ポート・コーディネート
- ③ 活動により活動が原を確保 するためのT夫

効果・期待

- ■地域コミュニティ活動の活性化
- ■担い手確保、子育て世代の地域 活動への参画!
- ■地域資源活用、コミュニティビ ジネス等への発展!
- ■地域の将来を担う子どもたちの 育成、郷土愛、地域への誇り、 職業観、課題解決能力、実践力、 地域貢献!

地区の住民・出身者

公民館等

企業

市・町

■地域辰興、教育委員会、農林 水産業振興等の関係セクショ ンによる支援

■島根県しまね暮らし推進課・ 西部県民センターが関係機関 と調整・支援

〔H25~27年度実施内容〕

- モデルづくり委託
- ・アドバイザー派遣
- ・研修会の開催
- ・報告会の開催等

県

公民館エリア等

様々な地域活動団体

学校 (小・中・高)

PTA

農業者・農業法人

加丁グループ

活動主体

子どもたちが参画

問題意識

地域自治組織等が中心となり、様々な地域課題解決 に向けた仕組みづくりが進められる中で、それをより 持続可能にするためにも、地域に暮らしている子ども たちが、地域に誇りを持ち、担い手となっていく、そ んな仕組みづくりも必要です。子どもたちを地域運営 の大切な仲間、次世代の担い手として考え、共に地域 の将来を考えていくこととも言い換えられるでしょう。 そこで、地域の住民組織や学校、関係機関・団体等

が連携し、地域の子どもたちが主体性をもち、地域の -員として継続的に地域活動を行うモデルの創出を目 的に「子ども地域活動モデルづくり事業」を実施しま した。

ポイントは、①子どもたちが主体的かつ継続的に地 域活動を展開すること、②大人が子どもたちをお客さ んとせず活動できる場をつくってサポート・コーディ ネートすること、③活動により活動財源を確保するた めの工夫をすること、です。

県西部圏域9つの市町地域振興担当課および教育委 員会にモデル地区を募集の後、5つの市町から推薦さ れた計6地区でモデルづくり実施しました。

モデル地区一覧

			27 11 22 32
	モデル地区名	モデル団体	事業期間
	浜田市金城地区	アスレチックきんた	平成25~26年度
	益田市豊川地区	豊川地区つろうて子育て推進協議会	平成25~26年度
	大田市中央ブロック	大田地域中央まちづくり委員会	平成25~26年度
	吉賀町蔵木地区	蔵木地区サクラマスプロジェクト 実行委員会	平成25~26年度
	浜田市井野地区	いのっ子クラブ	平成27~28年度
	邑南町矢上地区	邑南町を考える会	平成27~28年度

*県東部圏域では、安来市島田地区、奥田原地区、雲南市吉田地区、 計3地区でモデルづくりを実施。



光田市 豊川地区

* 平成25~26年度モデル

とよかわっしよい!! (豊川地区つろうて子育て推進協議会)

赤いTシャツがシンボル!オリジナルメニューの開発・販売にはじまり

地域課題の解決に向けた活動へ

大人サポーター

子どもメンバー

①子どもたちの「地域のために」という思いを 実現させたい。②自分たちの育った地域のリア ルをもっと体感して育って欲しい。 ③子ども達の 活動を通して大人も地域の課題に目を向けて欲 しい。この3つがサポートの軸です。

子どもたちは、大人が思っていた以上に自分た ちの育った地域の課題を分かっていて、自分た ちが地域のためにできること、したいことのアイ デアをたくさん持っています。

そのアイデアが少しずつでも形になることで、自 分たちの育った地域への愛着や、大きな自信に 繋がっていると感じています。

中学生が中心の活動のため、大人のサポート は不可欠ですが、「自分達がやっている感」を 大切にしてサポートしていきたいと思います。

私がこの活動を通して一番嬉しかったのは地域の方々に 声をかけてもらえるようになった事です。それは、私たち

の活動が少しでも地域の方々に喜んでもらえている証拠



大田市 中央ブロック *平成25~26年度モデル

大田JOいんつ♪

(大田地域中央まちづくり委員会)

高校生中心メンバー世代交代を経て活動体制を構築 地域のグループからイベントへ参画、企画運営の依頼を受けるように

『大田JOいんつ♪』の誕生により、中高生の地域活動 が大きく広がり、子どもたちの弾ける笑顔と活き活きと活 動に取り組む姿に、地域の大人が元気とやる気をもらっ ています。

他団体との連携が深まり、地域活動の依頼も増えるなど 『大田JOいんつ♪』への期待と協力的な支援が広がっ てきています。

これからも『大田JOいんつ♪』の力が『まちづくりの新し い戦力』として認められ、地域のみんなが世代を越えて 強い絆で結ばれるよう、地域をつなぐ『絆の架け橋』の 役割を担っていきたいと思います。

大人サポータ

『大田JOいんつ♪』の活動を通して、様々なものを得る ことができました。例えば、中学生と高校生が共同で活 動に取り組むことで、協力することの大切さを学んだし、 何かを任され、それを成し遂げることで、責任感を養うこ ともできたと思います。

そして、何より大事なことに気づきました。それは大田が いろいろな意味で本当に美しい町であるということです。 自然環境は豊かであり、田舎ながらも町は活気に満ち溢 れ、人々は温かく親切であり・・・。 『大田JOいんつ ♪』の活動は、大田の魅力に直接触れることができる貴 重な体験の場となっています。

栽培したサツマイモを加工したスイーツを販売 地域の農業団体の方から支援をうけ、 休耕地を借りてサツマイモを栽培

だと思います。



お祭り大成功!全員集合!



高校生・中学生がミーティング 先輩から後輩に引き継ぎ

子どもメンバー

連絡会議

モデルづくりに取り組む団体の関係者及び行政関係者が集まり、連絡会議を開催しました。

各モデル地区の近況報告ののち、モデルづくりを行う中でどのように子どもたちの主体性を確保するか、 どのように大人によるサポート体制を充実していくか、 継続した活動に向けた課題等について自由に情報共 有・意見交換を行いました。

*平成26年3月、9月に開催。





研修

子どもによる地域活動に取り組む地域のサポーター、コーディネーターほか子ども地域活動に取り組みたいと考えている方を対象に「子どもによる地域活動サポーター&コーディネーター研修会」を開催しました。子どもによる地域活動の実践事例報告に始まり、地域づくり、保護者、学校・社会教育等の視点を中心に

子どもによる地域活動を進めるためのポイントや手法

等をグループワークを交えながら学びました。

*平成27年10月に開催。

報告会

子どもによる地域活動を進めるモデル地域の活動を 積極的に評価する場として、取り組みの普及に向け、 活動をより多くの方に知っていただく場として「子ど も地域活動モデルづくり事業報告会」を開催しました。

平成27年の報告会では、各モデル地区のメンバーからの活動報告の後、パネルディスカッションを通じてモデルづくりを総括し、子どもによる地域活動の普及やさらなる展開について議論しました。

平成28年の報告会では、各モデル地区からの報告の後、子どもによる地域活動をよりよく継続していくために必要な事柄を参加者全員で議論しました。

議論ではメンバーやサポーターの交流が必要といった声をはじめ、生産・加工・販売といった農業一連の取り組みを通じると、子どもも興味を持ちやすく、地域の人たちも関わりやすいという声もありました。

実際に活動したメンバーからは、活動をとおして地域が好きになった、地域の輪を拡げていきたい、地域が盛り上がるように活動がしたいという前向きな声が多く聞かれています。

*平成27年1月、平成28年2月に開催。

子ども地域活動交流バスツアーたまやメンバーズクラブとの交流研修会 平成 2 6 年 2 月 8 日 中学生 1 3 名参加

まとめ

子どもたちが地域の一員として地域づくり活動に携わることは、地域づくりの担い手が直接的に確保されるという効果のみならず、地域の行事等に子どもの姿が見えることにより、大人たちも負けていられないと張り合いを持ち、地域全体の活動が活発化する傾向が見受けられました。また、子どもたちが地域づくりに参画することで、その保護者の地域活動への参画も促されました。

一方で、活動を継続していくためには、大人による サポート体制をいかに充実するかという課題も明らか になりました。単に手厚く子どもたちを手伝うことや お客さん扱いすることではなく、あえて手や口を出さ ない等、子どもたちの自主性や主体性に配意すること もそのひとつです。

いずれにせよ、活動の立ち上げから継続可能な体制づくりには一定程度時間や試行錯誤を要します。まずは、子どもメンバーが興味をもつ活動や既存の活動(例えば公民館活動)を出発点とし、他地区との交流の機会等も設けながら、中長期的な視点で活動を組み立てていくことがポイントになることが分かりました。